

2022年度関西四大学 薬物に関する意識調査

集計結果 報告書

これまで、大学生の大麻等不正薬物の所持・乱用による事件事故が相次いで発生し、薬物汚染が大きな社会問題に発展しました。こうした状況の下で、各大学における薬物に関する教育活動が喫緊の課題となり、2009年3月7日に関西四大学は、薬物乱用防止に関する共同声明を発表しました。健康で充実したキャンパスライフを学生に保障するとともに、より広い視点に立ち、安全・安心の社会を実現するための教育・研究、そして社会的な活動を大学の使命ととらえ、薬物乱用防止のための恒常的・経常的かつ組織的な啓発活動を行い、広く社会に向けてその活動を展開していくことを宣言しました。

その具体策として、共同のアクションプランを企画し、共同声明の発表以降、3つのアクション「委員会の開催・設置」、「教育・調査活動」、「広報活動」を柱に各大学で様々な取り組みを実施してきました。「関西四大学薬物乱用防止連絡会」の設置・開催をはじめ、学生参加のキャンペーンを行い、さらに講演会も開催してきました。

こうした活動の一つとして、2009年10月から関西四大学共同の「薬物に関する意識調査」を開始し、同調査も今年度で14年目を迎えます。

日本における大麻事犯検挙人員は、20歳代以下の若年層を中心に2014年以降増加が続き、この流れに歯止めをかける必要があるといえます。特にインターネットを利用して密売されるなど流通ルートが潜在化しており、今後の動向を引き続き注視する必要があります。

調査からは、新入生が大学入学以前から薬物乱用防止に関する教育を受け、さまざまな形で薬物についての情報に接しているほか、薬物に接触する危険性があることが明らかになりました。

関西四大学では、2009年10月から続くこの調査結果について、真摯に受けとめ、今後さらに慎重に検討を加え、引き続き薬物乱用防止のための教育活動を展開していきます。加えて、他の教育機関の諸活動においても今回の調査結果が役立つことを願っています。

2023年3月

関西大学学長 前田 裕
関西学院大学学長 村田 治
同志社大学学長 植木 朝子
立命館大学学長 仲谷 善雄

I 調査対象

対象者数 : 2022年度入学生 27,424名（関西四大学合計人数）
実施期間 : 各大学により定められた期間（2022年4～5月）
調査方法 : WEB アンケート
回答数（率） : 18,847名（69%）

II 集計結果

各質問への回答状況は、次ページ以降のグラフ及び集計表のとおりである。

——— 主な回答の集計結果について ———

質問集計例の一部 下記参照

◇質問 2 あなたは、次の薬物の名前を知っていますか。(複数選択可)

＜回答＞	2022年度	参考値
有機溶剤（シンナー、トルエンなど）	77.8%	2021年度との比較－1.5 ポイント
覚せい剤（シャブ、スピード、エスなど）	85.2%	2021年度との比較－2.5 ポイント
大麻（マリファナ、ハッパ、ハッシッシュなど）	92.0%	2021年度との比較－1.7 ポイント
コカイン（コーク、スノウ、クラックなど）	78.9%	2021年度との比較－2.1 ポイント
あへん類（ヘロインなど）	60.2%	2021年度との比較－0.7 ポイント
LSD（アシッド、フェニックス、ドラゴンなど）	20.0%	2021年度との比較＋0.5 ポイント
MDMA（エクスタシーなど）	52.9%	2021年度との比較－8.3 ポイント
いわゆる危険ドラッグ（脱法ハーブなど）	66.6%	2021年度との比較－5.3 ポイント
知っているものはない	4.2%	2021年度との比較＋1.4 ポイント

*LSD 以外のすべての薬物の認知が下がっており、中でも MDMA と脱法ハーブなどの危険ドラッグの認知度の低下が顕著である。

◇質問 13 あなたは、これらの薬物を使用することや購入することを誘われたり、勧められたりすることが、これまでにありましたか。(1つ選択)

＜回答＞	2022年度	参考値
誘われたり、勧められたことはない	93.5%	2021年度との比較－1.8 ポイント
購入を勧められたことがある	0.4%	2021年度との比較＋0.2 ポイント
使用を誘われたことがある	0.8%	2021年度との比較＋0.2 ポイント
無理やり使わされたことがある	0.2%	2021年度との比較＋0.1 ポイント
わからない	5.1%	2021年度との比較＋1.3 ポイント

*「誘われたり、勧められたことはない」という回答がもっとも多かったが、一方で「購入を勧められたことがある」「使用を誘われたことがある」「無理やり使わされたことがある」と考えている学生が一定数存在している。

◇質問 15 (ア) あなたの周囲に、これらの薬物を所持したり、使用している(いた)人がいますか。(1つ選択)

＜回答＞	2022年度	参考値
いない	89.1%	2021年度との比較－2.0 ポイント
いる(いた)	3.1%	2021年度との比較＋0.7 ポイント
わからない	7.7%	2021年度との比較＋1.4 ポイント

*「いない」という回答がもっとも多かったものの、「いる(いた)」「わからない」が増加しており、薬物の所持または使用が身近なものとなっている学生が一定数存在している。

◇質問 19 (ア) あなたは、これらの薬物を入手可能と考えますか。(1つ選択)

＜回答＞	2022年度	参考値
不可能だ	37.8%	2021年度との比較－0.1 ポイント
かなり難しい	23.9%	2021年度との比較－1.2 ポイント
難しいが手に入る	26.2%	2021年度との比較＋0.9 ポイント
手に入る	12.1%	2021年度との比較＋0.4 ポイント

*入手不可能だと考えている人（「不可能だ」「かなり難しい」）が減少傾向にある。
一方で、入手可能と考えている人（「難しいが手に入る」「手に入る」）が増加傾向にある。

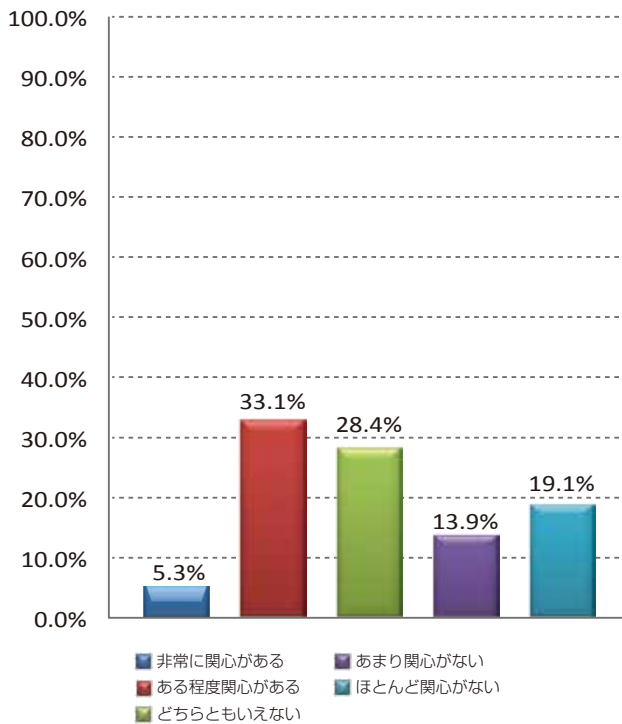
◇質問 19 (イ) 【質問 19 (ア) で「3 難しいが手に入る」または「4 手に入る」に○をつけた人だけお答えください】 入手可能と考えた理由は何ですか。(複数選択可)

＜回答＞	2022年度	参考値
SNS やインターネットで探せば見つけることができると思うから	89.3%	2021年度との比較－1.3 ポイント
SNS やインターネットで販売されているのを見かけたことがあるから	9.5%	2021年度との比較＋1.8 ポイント
それ以外	7.3%	2021年度との比較－0.6 ポイント

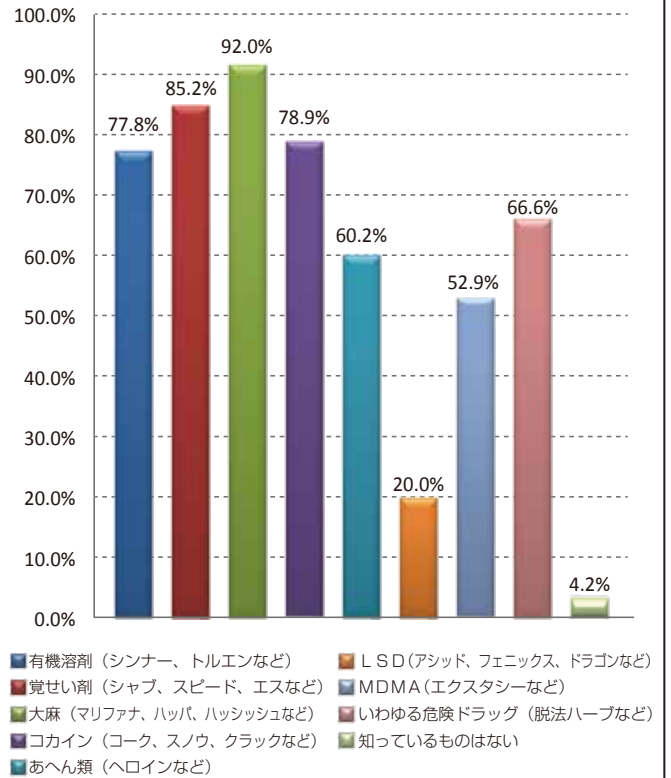
*入手可能と考えた理由について、大半が「SNS やインターネットで探せば見つけることができると思うから」と答えている。

関西四大学「薬物に関する意識調査」

共通質問 1) あなたは、薬物乱用問題について関心がありますか。(1つ選択) N=18,847

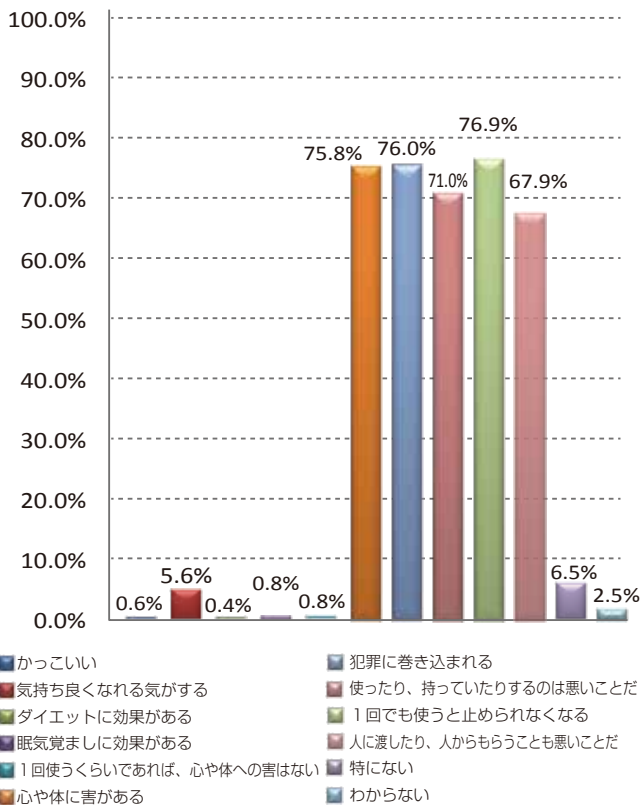


共通質問 2) あなたは、次の薬物の名前を知っていますか。(複数選択可) N=18,822

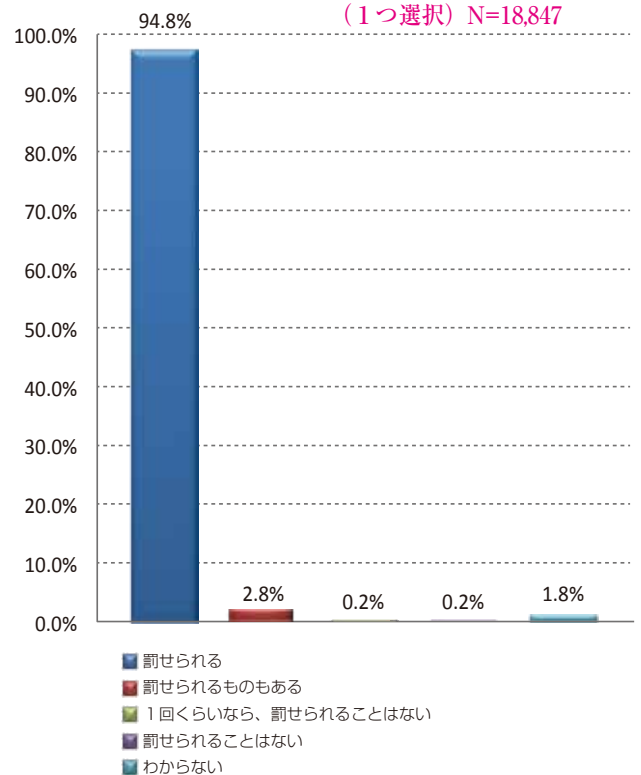


【前の質問であげた薬物についてお聞きします】

共通質問 3) あなたは、これらの薬物についてどのような印象を持っていますか。(複数選択可) N=18,823

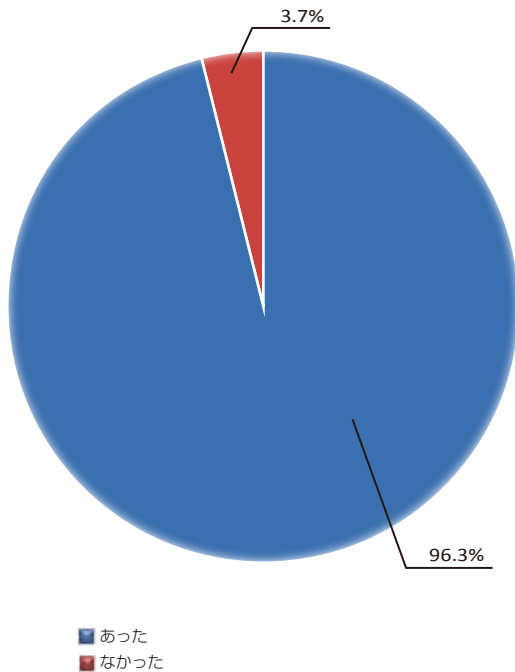


共通質問 4) あなたは、これらの薬物を使ったり、持っていたりした場合、また、他人に譲渡したり、譲渡された場合、どうなと思いますか。(1つ選択) N=18,847

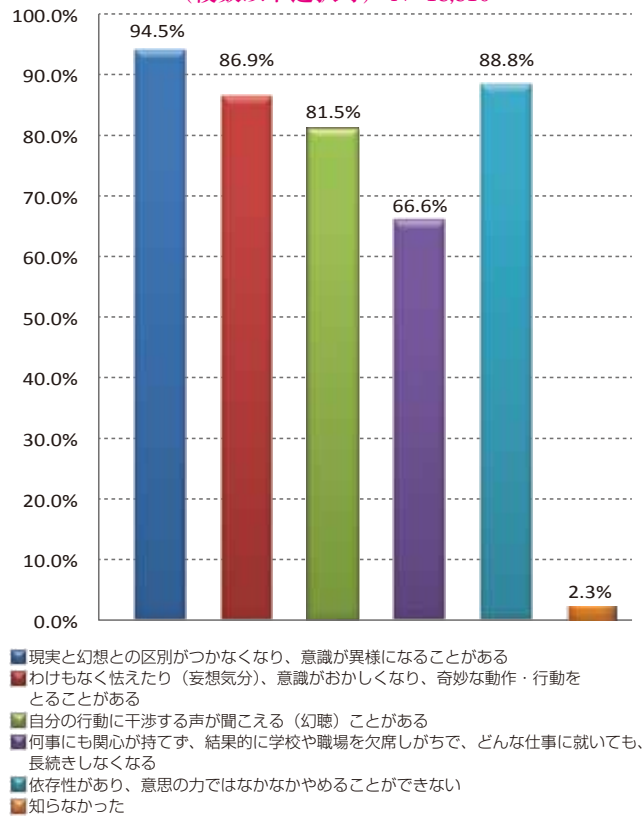


関西四大学「薬物に関する意識調査」

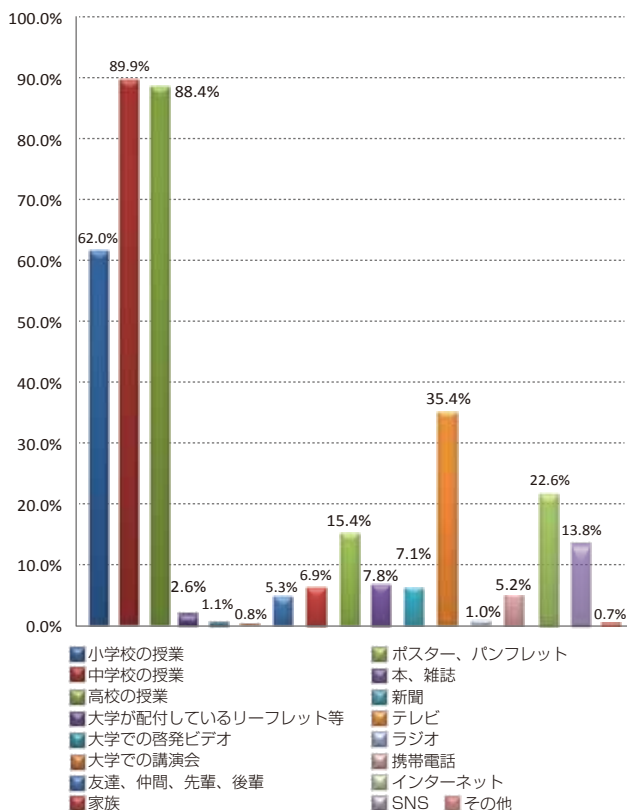
共通質問 5) あなたは、これらの薬物について学んだり聞いたりしたことがありますか。
(どちらかを選択) N=18,847



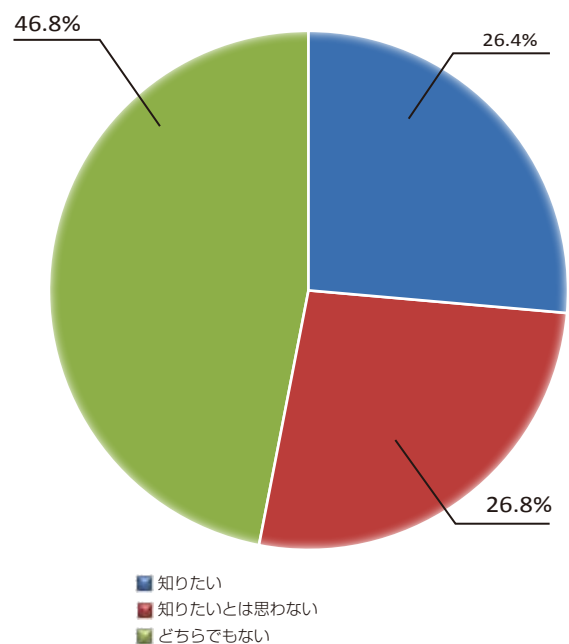
共通質問 6) あなたは、薬物を使った場合、以下になることがあるのを知っていましたか。
(複数以下選択可) N=18,816



共通質問 7) あなたは、これらの薬物について何から情報を得ましたか。（複数選択可）
N=18,822

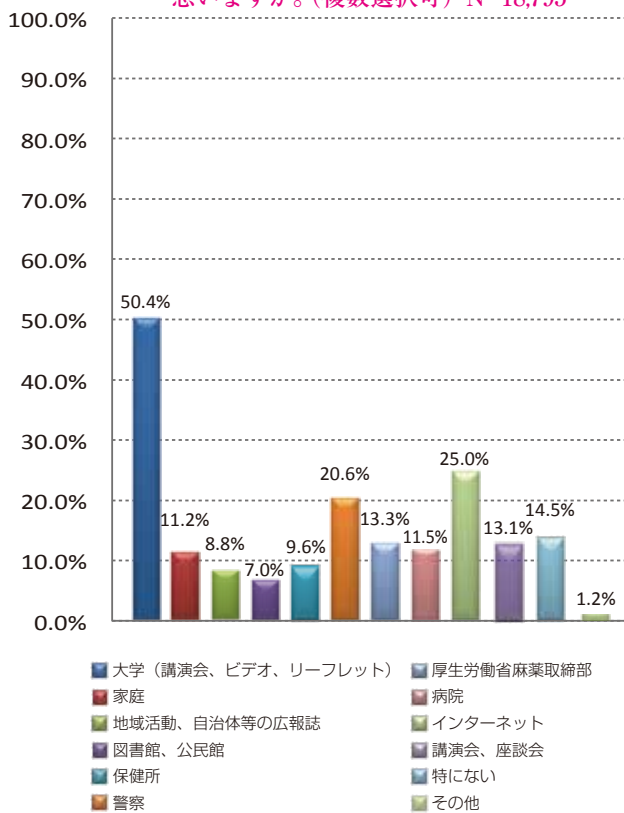


共通質問 8) あなたは、これらの薬物を使うことの怖さ（有害性、危険性）をもっと知りたいですか。
(1つ選択) N=18,847

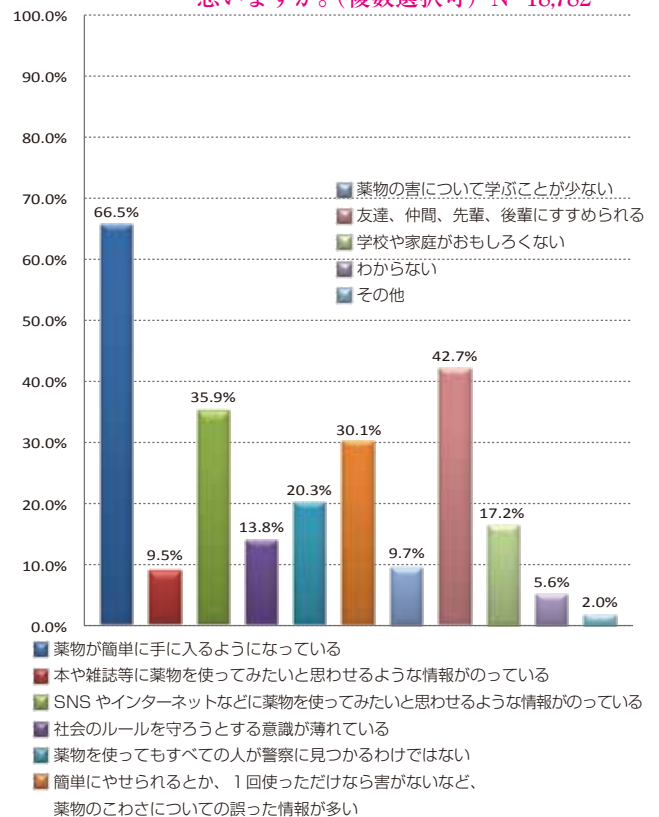


関西四大学「薬物に関する意識調査」

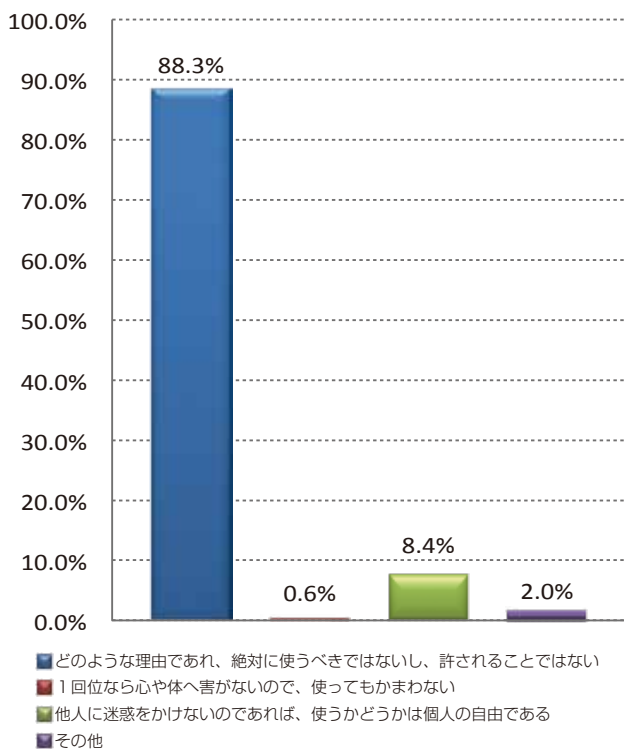
共通質問 9) あなたは、これらの薬物を使った場合の害について学ぶとしたらどこがよいと思いますか。(複数選択可) N=18,795



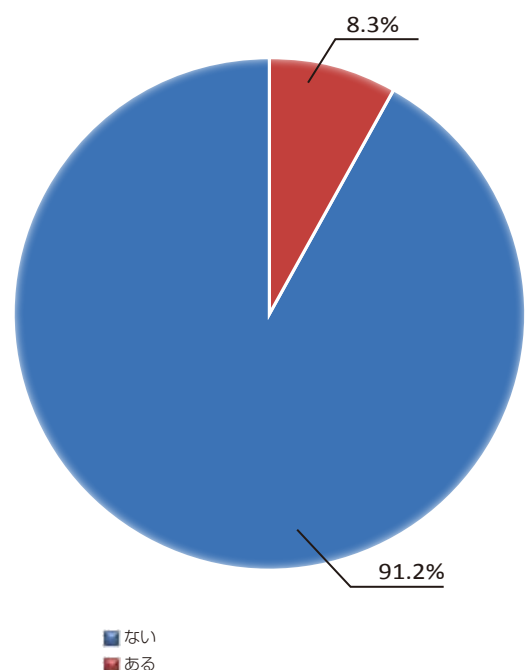
共通質問 10) あなたは、これらの薬物を使う人が増えているのはどのような理由からだと思いますか。(複数選択可) N=18,782



共通質問 11) あなたは、これらの薬物を使うことについてどのように考えていますか。(1つ選択) N=18,847

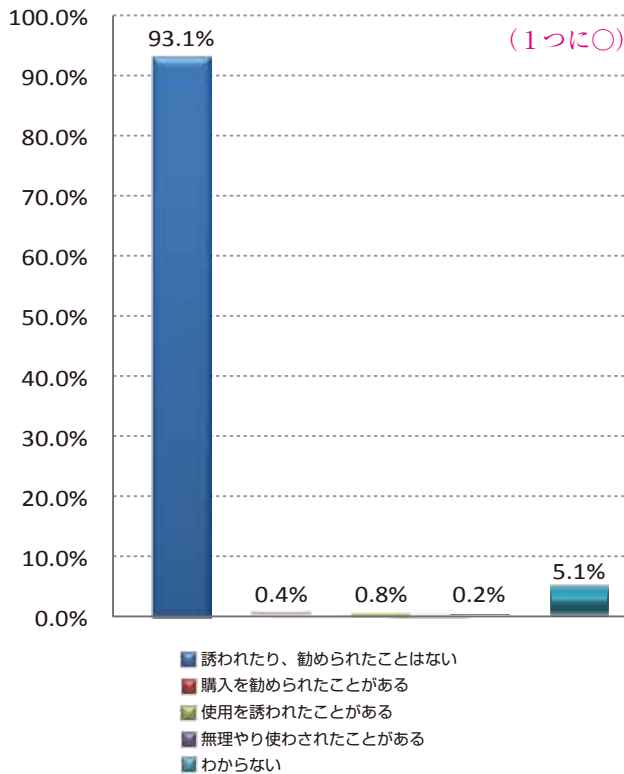


共通質問 12) あなたは、これらの薬物が使用されているところを直接見たことがありますか。＜テレビ、映画、報道等で見たものは除きます＞(どちらかを選択) N=18,847

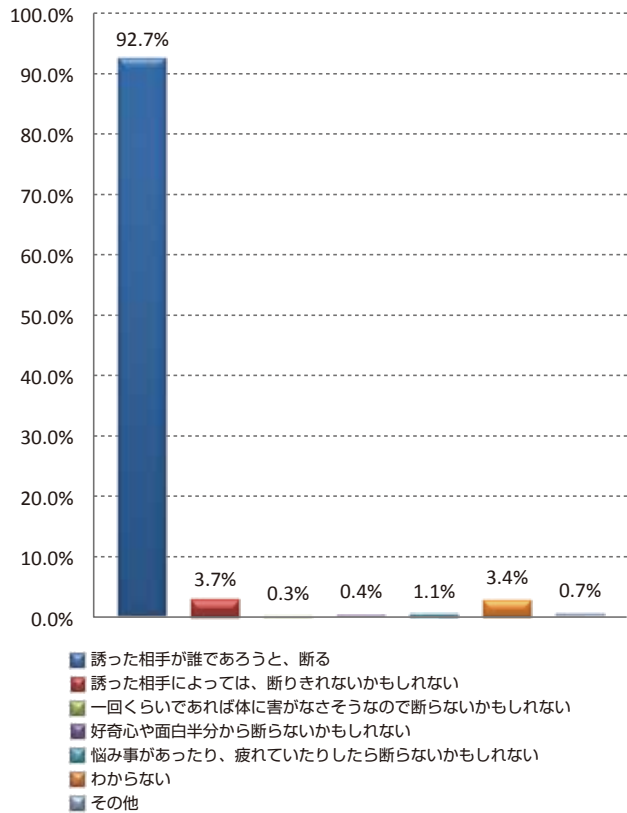


関西四大学「薬物に関する意識調査」

共通質問 13) あなたは、これらの薬物を使用することや購入することを誘われたり、勧められたりすることが、これまでにありましたか。(1つ選択) N=18,847

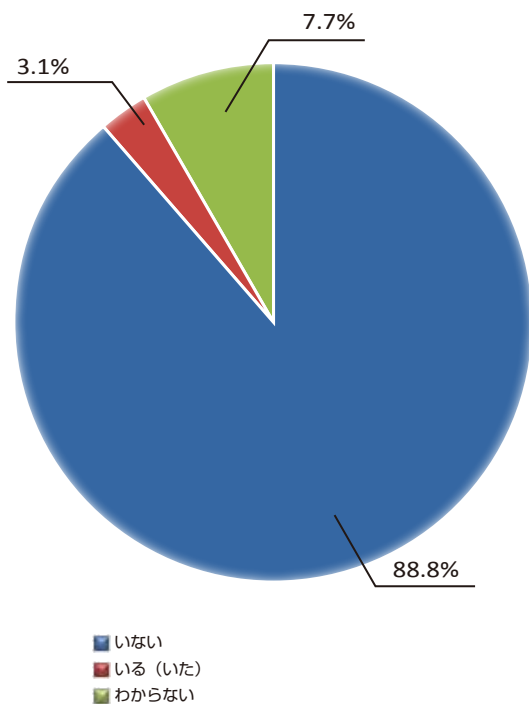


共通質問 14) あなたは、これらの薬物を使用することを誰かに誘われたら、どのように行動しますか。(複数選択可) N=18,776

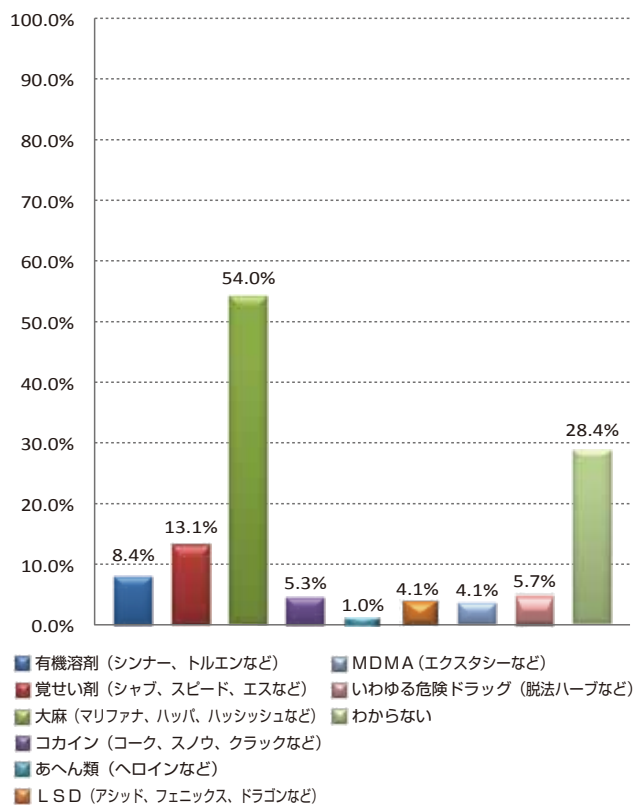


【前の質問で「2 いる (いた)」を選択した人だけお答えください】

共通質問 15 ア) あなたの周囲に、これらの薬物を所持したり、使用している (いた) 人がいますか。(1つ選択) N=18,847

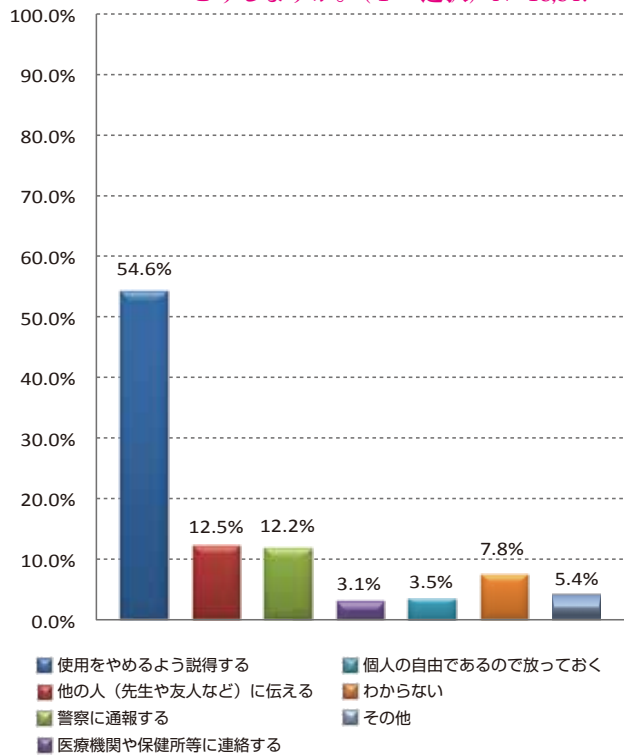


共通質問 15 イ) どの薬物でしたか。(複数選択可) N=580

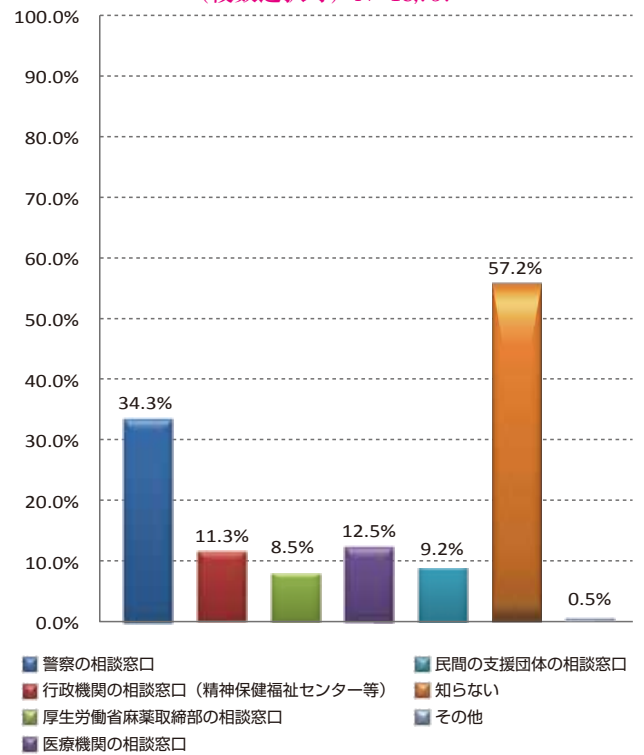


関西四大学「薬物に関する意識調査」

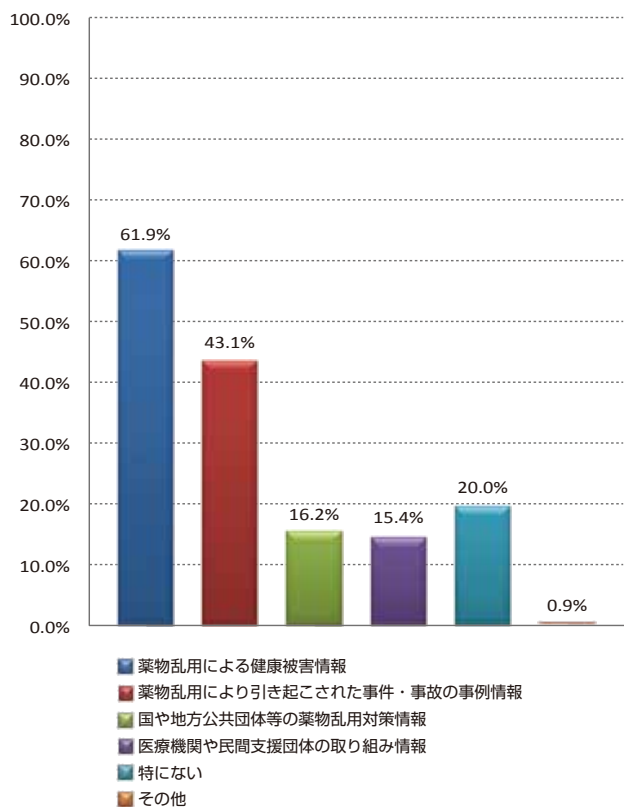
共通質問 16) あなたは、もし友人がこれらの薬物を使用していることを知った場合、どうしますか。(1つ選択) N=18,847



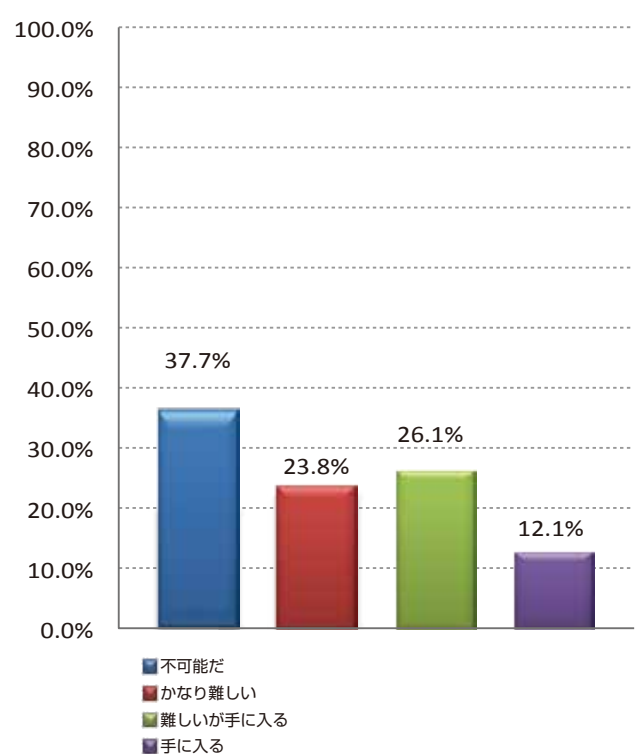
共通質問 17) あなたは、これらの薬物に関する相談窓口があることを知っていますか。(複数選択可) N=18,757



共通質問 18) あなたや、あなたのまわりの人がこれらの薬物に手を出さないように注意するために知りたいと思う情報は何か。(複数選択可) N=18,747



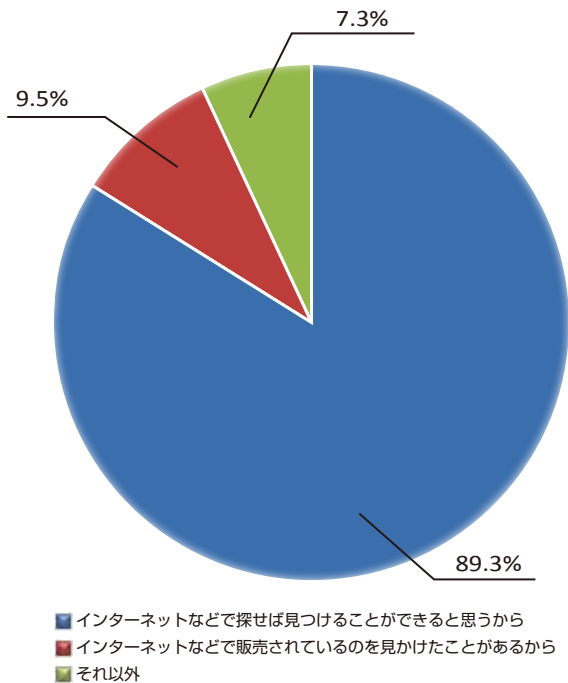
共通質問 19 ア) あなたは、これらの薬物を入手可能と考えますか。(1つ選択) N=18,847



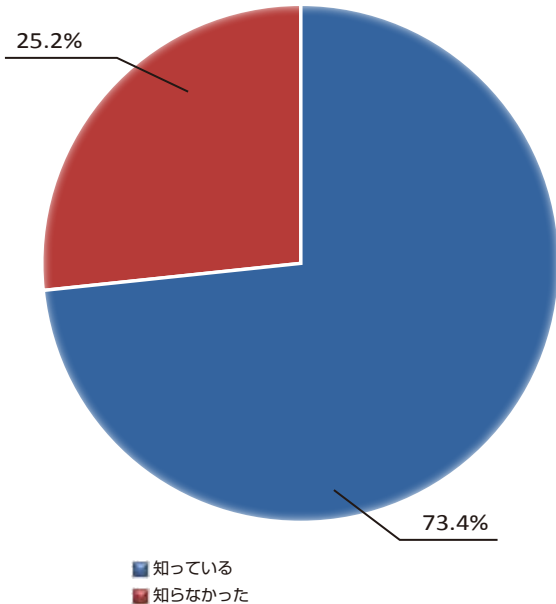
関西四大学「薬物に関する意識調査」

【前の質問で「3 難しいが手に入る」または「4 手に入る」を選択した人だけお答えください】

共通質問 19 イ) 入手可能と考えた理由は何ですか。
(複数選択可) N=7,138



共通質問 20) あなたは、薬事法の一部改正
(平成 26 年 4 月 1 日施行)により、危険ドラッグと称される
薬物や商品(脱法ハーブ、合法アロマリキッドなど)の
多くが、使ったり、持っていたりすると罰則の対象となる
薬物になったことを知っていますか。(1つ選択) N=14,080



薬物に関する相談窓口

兵庫県の薬物乱用問題に関する相談及び指導等

兵庫県精神保健福祉センター	078-252-4980
神戸市精神保健福祉センター	078-371-1900
兵庫県薬務課	078-362-3270

関西学院大学内

保健館(西宮上ヶ原キャンパス)	0798-54-6023
保健館(神戸三田キャンパス)	079-565-9045
保健館(西宮聖和キャンパス)	0798-54-6509
学生活動支援機構(西宮上ヶ原キャンパス)	0798-54-6110



関西学院大学
KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY